会議・打ち合わせ・視察　顛末書

					記録者	係長　近野 英樹
供覧	教育長	教育部長	課長	課長補佐	主査・係長	係員

件　　名	平成 28 年度龍ケ崎教育市民会議（小中一貫教育に関する意見交換会）
日　　時	平成 28 年 9 月 25 日（日）　午後 1 時 30 分から 3 時 20 分まで
場　　所	松葉コミュニティセンター
出席者	＜市民＞ 参加者：13 名 ＜教育委員会＞ 平塚教育長，髙橋教育委員，荒井教育部長，足立教育総務課長，黒田生涯学習課長，小貫指導課長，辻井教育センター所長，重田教育総務課長補佐，岡野教育総務係長，記録者
内　　容	**＜会議次第＞** 1．あいさつ（平塚教育長） 2．龍ケ崎市の取り組みについて 3．小中一貫教育について 4．教育委員会との意見交換
市民	**＜意見交換＞** 私は以前，適正規模適正配置審議会の委員をやっていました。教育委員会では今年度，新しい学校づくり審議会を立ち上げましたが，北文間小学校の統合を 1 年足らずで決めてしまったのは，ちょっと強引なのではないかと思いました。地域や保護者の意見をよく聞いてから統合した方がよかったと思いました。中学校区の児童生徒数に大きな差があることがわかりました。他の学校に配分するという考えはないのでしょうか。小中一貫教育は東京 23 区ではどこでもやっており，龍ケ崎は遅れています。つくば市は努力しているが，龍ケ崎市の教育委員会も外に出て，良い所を取り入れながら小中一貫教育の仕組みを作って欲しい。
足立課長	適正規模適正配置審議会に 2 年間ご協力いただき，ありがとうございました。小学校の統合につきましては，長戸でも 3 年間で計 110 回の会議を開きました。北文間でも 7 年間，地域や保護者との話し合いや，未就学児を含めた保護者へのアンケート調査などをやり尽くして，統合について話し合ってきました。保護者からはもっと早く統合して欲しかったという意見をいただいたこともあります。児童生徒の配分というよりも，学区の統合ということになると思いますが，私も将来を見据えますと統合は子ども達のより良い環境のためには必要だと思っています。つくば市の小中一貫教育は全国一の取り組みだと思っており，むしろ国の制度がつくば市を追いかけているくらいです。春日学園については，さまざまな角度から調べつくしており，他の施設分離型の学校についても今後

	見てきたいと思っています。いずれご報告する機会があればと考えております。
市民	ふるさと龍ケ崎戦略プランの「子育て日本一」と，今日の話はどのように関係しているのか。これがわからないと次の質問ができません。
教育長	教育も人づくりが大切ですので，龍ケ崎で効果的な小中一貫教育を９年間で実施することが，子育て日本一になっていくのだと思っています。
市民	それにしては取組が遅い。これまで何年間で何を行ってきたのか。教育委員会はどうも体質が古いのではないか。
髙橋教育委員	私は平成 20 年１月に教育委員となり，今日までの間に８年８カ月が経ちました。このため，私が教育委員の中で一番古いのですが，龍ケ崎市は県内でも一番最初に教育委員に保護者を入れた自治体だと思います。実際に中に入ってみますと，教育委員会のみなさんは現場に赴き，一生懸命やっているのですが，市民のみなさんにお伝えするのが，遅かったりできていないのかもしれません。決して体質が古いというわけではなく，前向きにやっていることをご理解いただいて，タイムラグにはご了承していただき，今日はご意見をいただければと思います。
足立課長	今日は小中一貫教育だけの話ですが，教育委員会で行っている事業は約 70 ほどありますが，その事業報告は毎年市議会にも報告しており，ホームページにも掲載しておりますので，そちらをご覧いただければと思います。
市民	小中一貫教育を進めていく上で問題になっていることは何でしょうか。
足立課長	小中一貫教育の形態により変わってきますが，施設一体型では小中一貫教育の効果が出やすいが物理的に難しく，施設分離型で始めると，先生や子ども達の移動などの課題があります。
市民	小学校の先生は全教科を指導し，中学校の先生は担当教科を指導している現状で，小学校と中学校の先生間の交流が一番大切で，この地域ならこのような力を育んでいこうという考え方が大切なのではないか。
足立課長	先ほども説明いたしましたが，施設分離型であれば，先生の移動が難しいため，打ち合わせの時間が確保できないという課題があります。
市民	こんな課題があって，どのように解決するというものを示さないといけないのではないか。
足立課長	今日は教育委員会が方針を示す説明会ではなく，みなさんからご意見を伺うための会であることをご理解いただきたいと思います。
市民	龍ケ崎市は小中一貫教育に移行するレベルにはないのではないでしょうか。パソコンが十分に設置されていない。小中一貫教育自体には大賛成です。小学校では保健が専門の先生が算数を教えないといけないので。ホームページには今日の意見交換会のことが載っていなかったこともあり，参加者が少ないのではないか。また小中一貫教育についてのお知らせも見当たらなかった。

足立課長	今日は小中一貫教育の取り組みをお知らせする第２報であり，第１報は新しい学校づくり審議会での審議になると思います。資料や会議録もホームページに掲載していますので，ぜひご覧いただきたいと思います。今日の意見交換会にはホームページや広報紙だけではなく，佐貫駅のデジタル掲示板や自治会の回覧や学校を通じて保護者全員へ約１万通の手紙を出したのですが，小中一貫教育というテーマが広すぎるのかもしれないという反省はあります。
市民	中高一貫教育ですと，この辺には並木中等教育学校がありますが，さまざまな形態の中から保護者が選択していくことは良いことだと思います。龍ケ崎市で小中一貫教育を実施すると，並木中等のようにその小学校に人気が集中してしまうと思います。どのような学校にするのか，カリキュラムも大切だと思います。高校では小中学校で学習したものが基礎にある前提で教えるので，龍ケ崎での教育レベルがあがっていくことを期待したい。いいことをやって，底上げするという発想で進めていただきたい。
教育長	龍ケ崎市には４つの地域性があると考えており，学校施設のハード面も大切ですが，地域ごとにどのような所を子ども達に足してあげればよいのかというソフト面も十分検討して進めていきたいと思います。
市民	小中一貫教育は地域の独自性を出せる取り組みなので，ぜひ研究していただきたいと思います。また，龍ケ崎市独自のカリキュラムを作成する際には，現場の先生にはご負担をかけることになると思いますが，ICT の活用によって，例えばテレビ会議など，時間の節約になりますし，タブレットや電子黒板の活用で学力向上につながったという結果もありますので，コストはかかると思いますが，小中一貫教育を実施する前から，ICT の積極的な導入をお願いしたいと思います。
足立課長	ICT はタブレットだけではなく，ソフト面を含めた取り組みも大切です。以前ご指摘いただいた古河市の ICT 導入の費用はなぜ安いのか調べてみました。その結果，使った分だけ課金するという形式で導入しているため，ランニングコストが高く，その分初期にかかるコストが安いということがわかりました。
市民	龍ケ崎市独自の教育のあり方ということで考えてみたのですが，コロッケやトマトの特産品がうまくいっているので，その辺を打ち出してはどうでしょうか。また，地元で働く人を増やすというキャリア教育とかもどうでしょうか。 また，私はタブレットなどの電子機器については，みんなは見ないので，ICT はあまり効果がないと思っており，週末や放課後に塾講師を学校に入れて，集団で教えたほうが効果があるのではないかと思っています。小中一貫教育は全国の市町村の 10％ほどしか実施しておらず，少ないという印象があります。6・3 制を変えれば，その変えたところにギャップが生じるのではないか。施設分離型では今と変わらないと思いますが，龍ケ崎は施設一体型にしたいということなのでしょうか。
足立課長	小中一貫教育をどのような形態で実施するかについては，まだ白紙ですが，施設一体型の方が効果が出やすいことがわかっていますが，ほとんどの市町村はやりたくてもできない状況です。次回の学習指導要領は戦後一番大きな改正ではないかと思っており，これを見ますと，５年生から英語が教科になること

	から，国は4・3・2制を目指しているようにも見えます。
市民	4・3・2制と分けずに，9でやるのはいかがでしょうか。
足立課長	この区切りもさまざまなやり方がありますので，当市でも検討したいと思います。
教育長	9年間をどのように分けるのかは，大切なポイントだと思います。小学校5年生は思春期でちょっと変化が見られる時期であり，中学校から先生が教えに来るということは緊張感があって良いのではないかという感じを，私の経験の上では持っております。一方，6・3制のままの方がよかったという声もありますので，どのようなやり方がよいのか研究したいと思います。
市民	龍ケ崎市では，学年の区切りはどこを目指しているというものはないでしょうか。文部科学省ではICTを2020年までに1人1台という方針を示していると思いますが，龍ケ崎市ではどのような状況なのでしょうか。
足立課長	当市はタブレットの導入については，一歩半遅れている状況です。当市でもICTを使った授業は行っていますが，来年度にすべての小学校高学年に1グループに1台，5人で1台のタブレットが使用できるようにしたいと考えています。小中学校に1人1台は難しいと考えています。
市民	九州の武雄市では全員にタブレットを配布しているようです。このため，龍ケ崎市でも段階的に実施していくべきではないでしょうか。
足立課長	国の方針は1人1台ではなく，移動可能なものを各校で40台というものだと思います。今年度に電子黒板を馴柴小学校と川原代小学校に導入したところでして，来年度にはすべての小学校に電子黒板が導入できるように準備を進めています。現在行っているICTによる授業はパソコンとプロジェクタを使って実施しています。
市民	全ての教室に電子黒板などがないのに，小中一貫教育と言っていることがおかしいと申し上げたい。
小貫課長	全ての授業で電子黒板などICTを使うのではなく，ICTを使うことで効果のあるものついては，ICTを使った授業を行っているのが現状です。
市民	資料の後半の部分はすべて，文部科学省が実施したアンケート結果なのでしょうか。
岡野係長	その通りで，15ページから21ページまでが文部科学省が実施したアンケート結果です。
市民	新しい学校づくり審議会を2回実施したとのことですが，それぞれの会議の議題はどんなものだったのでしょうか。4・3・2制によって，教員免許の問題などはないのでしょうか。6・3制でも出前授業などで中1ギャップは解消できるのではないか。小学校3年生から英語が始まるとのことですが，龍ケ崎市独自に英語の免許を特区でできるのではないか。縦割り行政なのが気になりますが，

	空き家に外国人に無料で住んでもらって，それを英語環境にするなどの工夫が必要ではないか。
荒井部長	新しい学校づくり審議会では，第1回は樋口教授に小中一貫教育の概要を講演してもらい，認識を共有しました。第2回は当市の子ども達の現状を学力面・体力面・生活面などから報告し，各委員と意見交換を行いました。
教育長	特区というよりも，小中一貫教育にして小中学校の先生に兼任兼務発令を出せば，その先生がきちんとした形で指導することができるようになります。
足立課長	外国語活動については，小学3年生から必修となってきますので，当市でもAETの先生を招いて，先生の研修をしながら準備を進めているところです。
市民	今日はなぜ保護者がいないのか。保護者には小中一貫教育はまだピンと来ていないのではないか。PTAなども交えて意見を聞いてみてはどうか。
市民	私は子どもを幼稚園に通わせている保護者ですが，小中学校のことに関心のない母親はいません。しかし，この場所に来る時間はない。せっかくの週末は家族で過ごしたいと思います。周囲の母親達に意見を聞いてみたが，小中一貫教育に賛同する方が多かったです。現在は学区ごとに人数がずいぶん違いますので，学区を見直すとか，学区外から通えるようにバスを用意するなどの取組が必要ではないでしょうか。龍ケ崎はよい街ですが，細かい意見も取り入れていただけるように期待しています。
	＜アンケート・自由意見＞ ・少子化について認識はしていても，身近な出来事だと認識していない保護者が多いように感じます。 ・体力形成のために，小学校は徒歩通学が大事だと思います。 ・単学級や統廃合が進む中，逆行してマンモス校とよばれる学校もあり，同じ市内でも格差がありすぎると感じるので，学区外でも希望の学校に行けるように通学環境を整備するなどして，各学校の児童数の平均化を促してほしいです。 ・魅力ある学校・注目される学校を作り，児童数の減少を防ぐのはどうでしょうか。例えば，スポーツ・体育の分野において，たつのこアリーナでの幼児教育や，体育での特別なカリキュラムを創設するなど心身の育成に力を入れる。また，ICTによる高度教育など他の分野においても新しい形態の授業を積極的に取り入れ，公立の学校でありながら，一般企業も入ってきた初めての学校として注目される。たつのこアリーナの一部を利用し，施設一体型モデル校を設立するなどの案はいかがでしょうか。 ・マンモス校では，子どもの個性が尊重されず，良い芽を持っていても咲かずじまいで終わってしまいます。少子化だからこそ，より一人ひとりの個性，才能を伸ばす方法を考えてみてはいかがでしょうか。 ・子どもを想う気持ちが誰よりも強い保護者は，公の場で発言できる機会が少ないので，現在よりももっとアンケートを取ってほしいです。

	・龍ケ崎市は，保守的というイメージが払拭できません。目に表れる形で成果がわからないのでしょうか。着眼点はとても良いと思います。たつのこやまもたつのこアリーナも素晴らしい施設だと思います。しかし，なぜかこの市の素晴らしさが市内外にも伝わらないのです。もっと地元住民の意見を聞き，取り組んでください。小中一貫教育大賛成ですし，頑張ってほしいです。期待しています。 ・保護者は，反応がうすいと言われましたが，みんな興味があります。しかし，お母さん方は忙しいので，なかなか会場まで足を運ぶ時間がありません。堅苦しくない案内を出し，アンケートをとってください。小中一貫校について，みんな興味があり，いろんな意見やアイディアをもっていますので，その声を聞いてください。 ・ICT は，実はあまり効果がないのではないでしょうか。 ・農産物，特産物を大きく打ち出した教育をしてほしいです。 ・龍ケ崎ではたらき，子育てをする仕組みづくりをしてはどうでしょうか。 ・未就学児の充実，待機児童対策を打ち出すのはどうでしょうか。 ・廃校した地域の交通の便について，南ヶ丘から龍西小への通学はどうするのでしょうか。 ・小中一貫教育を施設一体型で行う場合，遠い地域の子どもはどうするのでしょうか。 ・学校の空いた時間・教室で課外授業を行ってはどうでしょうか。 ・本当に大事なことは，小中一貫校の制度設計の過程で地域独自の課題解決をうまく，盛り込むことで，龍ケ崎独自の教育スタイルを作り上げていくことだと思います。目指す方向性を明確にし，そこに「志」を共有する市役所，学校現場と地域住民がどのように関わっていくかを具体化することだと思います。 ・ICT 教育の環境の整備の提案をしたいです。小中一貫校の制度づくりの中でカリキュラムを作り上げていくことがポイントとなるような気がしますが，カリキュラム作成にあたり現場の先生方にとっては，日常的な業務のほかに膨大な負担がかかり，大変な労力と時間がかかるとのことです。そこで，先行自治体が様々な工夫をされている一つにテレビ会議がありました。テレビ会議の利用により，移動時間の解消に随分に役に立ち，小中一貫校がスタートした後でも分離型校で離れた学舎間の先生方の打合わせにも有効に活用されているとのことでした。今後進めるにあたって，学校間の ICT のインフラ作りは不可欠だと思いますので，今すぐに取り組む課題だと思います。 ・小中一貫校のプログラムの中に ICT を組み込むことを提案したいです。教育日本一を掲げているつくば市では，小中一貫校（現義務教育学校）の仕組みの中にも ICT が見事に組み込まれています。電子黒板とタブレットのグループ利用の導入を決められていますが，タブレットの１人１台の利用で学力が大幅に向上した三重県松坂市の事例，茨城県でも古河市が低予算で１人１台を実現している事例もあります。小中一貫校の検討の中に ICT を使って子ども達の学力や能力の向上に具体的にどう活かすことができるか，もう一度ゼロベースで検討いただくことをお願いします。 ・今なぜ一貫教育の導入に具体的に取り組まなければならないのでしょうか。 ・少子化によって小学校の子ども達が急激に減り，単独では学校経営がなりたたなくなってきていて，特にニュータウンでは顕著のように感じます。 ・教育の多様化により小学校から中学校にかける義務教育に指導の専門性を導入しなければならないと思います。例えば，小学校への英語教育，道徳教育の導入など。

	・子育てに地域の協力を導入し，地域と学校が協働し合う体制を整えることが重要であります。共稼ぎ世代の学校教育へは地域のサポートが必要だと思います。 ・1学年1クラスの教室が増えてきたこと，学校の老朽化も進み，先を見通した構造改革に迫られていること，少子化に伴う教職員の適正配置に目的をもって取り組まなければならないことなどの喫緊の課題が挙げられる。 ・小学校の多様化以前から，小学校の授業にも教師の専門性を導入しなければならないと考えていた。このことは，電子化教育への積極的な対応にも一定の影響をもたらしていたと考えます。特に高学年，4学年から6学年にかけては中学校教育への橋渡しを授業面からも対応しなければならないという課題があるのではないでしょうか。 ・共働き世代への対応は，地域のシニア勢力を活用することが必須と考えます。現状でも父兄のサポートよりシニア世代のサポートが主体でしょう。ニュータウンには，元気（高学歴）な社会人が，元気な状態で生活しています。このパワーに協力を求めたいです。「元気サロン」だけに閉じ込めておくことはもったいない，言いすぎですが，「元気サロン」の外に生きがいを求める方もいらっしゃるのではないでしょうか。 ・合同教員研修会は，とても重要と考えます。 ・「龍ケ崎市の新しい学校づくり審議会」の建設的な対応に期待します。次回が3回とのことですので，その後にはPTAやコミュニティ活動推進協議会，自治会等から建設的な意見の聴取があれば，住民にも市の取組が伝わるのでしょう。 ・小中一貫教育制度の導入については，賛成です。私は，特に以下の件を強調します。 （・教職員の資質の向上→教育実務への集中を保障すること。 ・第3の壁「教育方法の壁（教科担任制）」→小学校の先生方の位置づけは慎重にしてほしい。 ・「9年間の教育課程の区切り」→将来的には「初等部：1～4年生，中等部：5～7年生，高　等部：8～9年生」を志向しつつ従来の教育課程の区切りでスタートしてみては。） ・「施設分離型」でのスタートしか考えられないが，将来的には施設一体型を志向したい。 ・「小学校から中学校への進学に不安を覚える児童がいた」いうデータの多さに驚きました。